



ジャンクシヨンプロデューズブティック泉南代表  
**上野真幸・不撓不屈の半生**

# 運命

それは自分で変えるもの

## 第8回

何もせず、これは無理だと決めつけたくない。ダメでも1回やってみて、原因を分析する。そうすれば、次に必ず違う一歩を踏み出せる。幼いころのどん底生活から、ジャンクシヨンプロデューズの顔となるまで。日々、全力で生きることをポリシーとする男の、最強成り上がりストーリー。

### 上野真幸 Masayuki Ueno

1974年7月17日生まれ。有限会社ジャンクシヨンプロデューズブティック (JUNCTION PRODUCE BOUTIQUE 泉南) 代表取締役として、全国を飛び回る毎日を送る。休日は朝から夕方まで自分の船で大阪湾をクルージングして、心身ともにリフレッシュ。仕事も遊びも全開の37歳だ。

■ジャンクシヨンプロデューズブティック泉南  
〒599-0232 大阪府阪南市箱作 2129  
TEL.072・476・6300

不撓不屈(ふとうふくつ)  
どんな困難に出会っても決して心がくじけないうこと

22歳のとき、自分のメーカーを作った。ジャンクシヨンプロデューズ武富社長との出会いに運命(＝ディスティニー)を感じたから、メーカー名はディスティニープレゼンツ。しかし、その仕事だけで食べていけないほど甘くはなかった。

### 日ごとに増していくあせり このままじゃ絶対にあかん

メーカー業を本職としながらも、毎日、鳶(とび)の仕事にでかける。相変わらず足場をばらしながら、携帯にかかってきたディスティニープレゼンツの電話をとる。

そのまま何年かたち、自分自身変わらななきゃあかんと思い始めていた。決して鳶の仕事が悪いわけじゃないんだけど、クルマの仕事だけでメシを食っていきなかつた。人間には、だれにでもターニングポイントというのがあって、俺は思っている。肝心なのは、そのときそれに気づくか気づかないか。このときの俺はまさにそのターニングポイントだったのだと思う。メーカーと鳶、半分半分という状態で止まっているのは絶対にあかんと思つた。夢を追い続けなきゃあかんというあせりが日ごとに大きくなっていったのだ。

### 「上野くん、いつまでこの状態続けてるん？」

武富社長に恩を返したいという一心で、俺はジャンクシヨンプ

ロデューズが参加する大型カーショウ、イベント、撮影、その他もろもろすべて手伝いに行つていた。スタッフ以上に頼りになる存在になりたい、俺の中には常にそういう強い気持ちがあった。

そんなある日、武富社長と和歌山県の大形カーショoppのイベントに参加していったときのこと。「上野くん、いつまでこの状態続けてるん？」

## 人生のターニングポイント。 俺の人生、ブティックにかける。

伝いやって。もう27歳やる？ウチで払つてるアルバイト料だつてそんなに高くないし、ふと心配になつてしまふねん。」

俺の悩み、普段から考えていること、すべて武富社長はお見通しだつた。そしてこの話は意外な展開へと進んでいく。

「ジャンクシヨンプロデューズの何かをせえへんか？」

「何かって…なんでですか？」

「子供さんと闘っている子どもたちを応援！  
ゴールドリボン基金キャンペーン実施中」  
ジャンクシヨンプロデューズブティック泉南では先月に引き続き「ゴールドリボン基金」に募金活動を実施中。キャンペーン期間中に「VIPチャイルドシート」を購入すると、商品代金から5000円が募金される。「微力ながら小児さんと闘っている子どもたちの力になればと思い、キャンペーンを行っております。募金いただいた方には、ゴールドリボン基金からピンバッジが贈られます。この機会に1人でも多くのご協力をお願い致します！」と、上野真幸からも熱い応援メッセージ!! 問い合わせ：ジャンクシヨンプロデューズブティック泉南 TEL.072・476・6300

階の店舗が空いている。そこでジャンクシヨンプロデューズの何かができんかと思つてるねん。」

「上野くんはジャンクシヨンプロデューズのこと全部知つてるし、顔も広い。しかも下積みまでやつてきてるし、こんな素人おらんと思つて、まさに、ザ・ジャンクシヨンプロデューズやと思つたわ。」

ジャンクシヨンプロデューズの何かといつたら、そのイメージをそのままカタチにしたショoppやショールーム以外にない。

ついに、ジャンクシヨンプロデューズを背負う

「やります!!」  
もう速答。考えるまでもない。目の前でモヤモヤしていたものが突然なくなり、心の中がスカッと晴れわたつたような気がした。

俺の人生、これにかける。  
ジャンクシヨンプロデューズのアーテナショopp&ショールームとして自分の会社をおこす。

ヴィイトンは好きだけどヴィイトンで働こうとは思わない。それと同じで、永遠の憧れであるジャンクシヨンプロデューズのスタッフにはならないでおこう思つていただけ、ついにそのときが来てしまった。

### 自分の会社を設立。 社長ロードスタート!!

でも、そうと決めたらもうやつてやる。どこまでも、俺がとことん背負つていつてやる。

会社名は有限会社ジャンクシヨンプロデューズブティック。俺の、社長ロードのはじまりだ。

この後、全国あちこちに出来ていくブティックの第1号でもある。場所は大阪府豊中市、中国道沿い。ショoppのテーマは、東京オートサロンや大阪オートメッセに出展している華やかなジャンクシヨンプロデューズブックスを、お客さんになつぷりと体感してもらおうこと。それをとにかくじつくり考えた。

入口は真っ黒なスモーク張り。そこを開けたら一面黒い壁と大理石で埋めつくされた空間、そして大音量の音楽。その中に、スポットライトに照らされたクルマやパーツ類がゴージャスにズラリと並ぶ。

何やらわからんらしいの、めっちゃめちゃあやしいショoppが完成した! (次号につづく)

●ブティックオープン。次号、上野真幸、研究&勉強の日々!!

今月の上野VOICE: ジャンクシヨンプロデューズブティック泉南が応援している亀田三兄弟、亀田興毅選手のバンナム級防衛戦「第4回東北大震災チャリティ試合」が、8月31日(水)に東京の日本武道館で行われます。メキシコ出身のデビット・デラモラ選手といつたどんな死闘を繰り広げるのか…。亀田興毅選手の熱い試合をぜひその目でご覧ください! 午後7:30～メイン試合スタート チケット問い合わせ: キョードー東京 TEL.0570・084・708